

記入例（自宅外通学申請届）

赤枠内すべての記入が必要です。
提出前に記入漏れや誤記入がないか確認のうえ、
記入後は速やかに学校へ提出してください。

⑥自宅外通学申請住所への入居日

- 自宅外通学申請住所への実際の入居日を記入してください。よって⑦より前の日付が入ることはありません。

⑦賃貸借契約期間

- 添付する賃貸借契約書等に記載された契約期間を記入してください。
- 契約期間外の居住証明書類と併せて提出する場合、元々の契約期間の開始日～契約更新後の契約期間の終了日を記入してください。
- 終了日が明確に定められていない場合は右側余白に「無期限」や「卒業（退学）まで」等契約内容に準じた文言を記入してください。

⑧家賃・寮費の発生年月日

- 基本的には契約期間の開始日と一致します。
- フリーレント等の特約で契約開始日より一定期間経過後から家賃が発生し始めている場合、実際に家賃が発生し始めた年月日を記入してください。
- 賃貸物件に同居していた生計維持者の転居等により、住所変更を伴わず自宅外要件を満たした場合、その要件を満たした日を記入してください。この場合は⑩も同一の日付としてください。

⑨自宅外通学申請住所

- 添付する賃貸借契約書等に記載された住所をそのまま記入してください。

【給付様式35】

自宅外通学申請届

(通学形態変更用)

③奨学生番号

- 奨学生番号が付与されている場合は必ず記入してください。
- 奨学生番号を記入できる場合、④⑤の記入は不要です。

②氏名

- 必ず奨学生本人が記入してください。
- 機構に登録した氏名表記で記入してください。（アルファベット表記不可）

給付

奨学生・予約採用候補者→学校
→自宅外通学事務処理センター

①学校への提出日

- 奨学生が学校へ提出した日を記入してください。

④採用候補者決定通知登録番号 及び

⑤進学届入力日

- 予約採用で進学届を入力後かつ奨学生番号の付与前に提出する場合、④⑤ともに記入してください。
- 進学前に進学予定の学校を通じて提出する場合は④のみを記入してください。

⑩機構に届出済みの生計維持者（現住所）

- 下記のi～iiiのうち、最も直近で機構に届け出た生計維持者を記入してください。
 - 進学届（当年度の予約採用者が該当）
 - スカラネット（当年度の在学採用者が該当）
 - 在籍報告（昨年度以前の採用者が該当）
- 機構に届出済みの生計維持者と一致しない場合は不備になります。
- 生計維持者の住所は自宅外通学申請時点の現住所を記入してください。ここは機構に届出済みの住所と相違していても構いません。（海外住所可）
- 独立生計として認められている場合、奨学生本人の情報を記入してください。（続柄：本人）
- 機構に登録した氏名表記で記入してください。（アルファベット表記不可）

⑪キャンパス（通学校舎）所在地

- 主として通学しているキャンパス（校舎）の住所を記入してください。

学校名	日本学生支援機構大学		学年	1 年
学部・学科 (課程・研究科)	〇〇学部 〇〇学科		氏名 (自署)	育英 友
③ 奨学生番号	5 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 9 9 9 9 9 9 9 9 1 0 9 9 9 9 9 4 月 16 日			
自宅外通学要件 及び提出書類の確認	「対象区分・必要証明書類確認シート」を確認し、以下の「対象区分」に該当することを確認 該当する「対象区分」に☑を記入し、証明書類を添付⇒ ☐ A ☐ B ☐ C ☐ D ☒ E ☐ F ☐ G			
自宅外通学申請住所 への入居日	西暦 2 0 2 6 年 3 月 2 5 日			
賃貸借契約期間	西暦 2 0 2 6 年 3 月 2 5 日 ～ 西暦 2 0 2 8 年 3 月 2 4 日			
家賃・寮費の発生年月日 (※⑧)	西暦 2 0 2 6 年 3 月 2 5 日			
自宅外通学申請住所	〒 1 5 3 - 8 5 0 3 東京都目黒区駒場 4 - 5 - 2 9 駒場マンション 3 階 3 0 1 号			
機構に届出済みの 生計維持者① (現住所)	生計維持者① (続柄: 父) 〒 5 4 3 - 0 0 0 1 大阪府大阪市天王寺区上本町 8 - 3 - 1 3 氏 名 : 育英 太郎			
機構に届出済みの 生計維持者② (現住所)	生計維持者② (続柄: 母) 〒 5 4 3 - 0 0 0 1 大阪府大阪市天王寺区上本町 8 - 3 - 1 3 氏 名 : 育英 花子			
キャンパス所在地 (通学校舎)	〒 1 6 2 - 8 4 1 2 東京都新宿区西谷本村町 1 0 - 7 JASSO 市ヶ谷			
自宅外要件 (※⑨)	下記①～④の当てはまる要件に☑を記入してください。 ①～④に当てはまらず、やむを得ない特別な事情で申請する場合は、⑤の詳細欄にその事情を記入してください。			
・生計維持者との別居 ・本人または生計維持者の家賃(寮費)負担に加えて満たす要件を 選択してください。	①実家から大学等までの通学距離が片道60キロメートル以上 (目安) ☒ 当てはまる			
	②実家から大学等までの通学時間が片道120分以上 (目安) ☐			
	③実家から大学等までの通学費が月1万円以上 (目安) ☐			
	④実家から大学等までの通学時間が片道30分以上であり、通学時間帯に利用できる交通機関の運行本数が1時間あたり1本以下 (目安) ☐			
	⑤その他やむを得ない特別な事情 (※⑤) 詳細:			

上記記載のとおり相違ないことを証明します。

(学校の証明) 20 2 6 年 4 月 2 2 日

学 校 名 日本学生支援機構大学

証明者 (※) 支援 次郎

※証明書は義務教育施設以上の学校としてください。

学校施設 (必記入)	・上部枠内の必要事項がすべて記入されていることを確認済 ☒ はい		
	・以下の「対象区分」に該当し、必要書類が添付されていることを確認済 ☐ A ☐ B ☐ C ☐ D ☒ E ☐ F ☐ G		
電話番号(担当者名)	00 - 0000 - 0000	学校番号	9 9 9 9 9 9 9
区分	00	0000	0000
〈 支援 三郎 〉			

青枠内は提出を受けた学校の記入・証明箇所です。